

大谷ヶ丸西尾根～北西尾根 山行報告

- 【山域】 大菩薩
【日時】 11月7日(土)
【天候】 曇り時々晴れ
【参加者】 柘植(L) 狩野 吉瀬 井上里美 小俣(記)



千葉から柘植車に乗り4人で出発、中央道日野バス停で狩野さんピックアップ。うまく合流できるか心配でしたが、うまくいきました。予定通り登山口の景德院駐車場に8時過ぎに到着。

身支度後、曲沢林道へ。西尾根末端のP956には鉄塔があるので、鉄塔巡視路を利用して取りつくことに、入り口を求めて歩く。鉄塔巡視路の標柱を認め登高開始 8:35。始めは巡視路の道形もはっきりしておりジグザグを切って登るも次第に不明瞭となり適当に上を目指して登る。息が切れてきた頃鉄塔が見えひと頑張りにて稜線上にでる。



鉄塔基部で一休み 8:50~9:00。これから先はなだらかな稜線歩きとなる。いつものことであるが、稜線にでるまでの登りがキツイ。今回は入門ということで、目指す稜線ピークに

鉄塔があり道も比較的分かり易い。そこそこ歩かれているようで稜線上にはそれとなく道がある。リーダーから、先頭を順番に交代して地図読みの練習をしましょうということになり、トップバッターは井上さんに。上り一方の尾根が一度ダラッと下がった後ぐっと登ると P1198、9:50 通過。トップ交代で狩野さんに。狩野さんは GPS 持参にて地図より強力助っ人有り。穏やかにアップダウンを繰り返しながら高度を上げていく。標高 1200m 辺りより北面に唐松が広がり柔らかな足元を提供してくれる。色とりどりの足元の落ち葉、美しい紅葉の眺めを我らパーティーで独占。P1370 到着 10:50~11:00。そろそろ紅葉より葉を落とした木が目立ってくる。冬枯れの眺めになるが、見晴らしが効き、隣の尾根や下山予定の北西尾根がよく見える。ここで、トップ小俣に交代。ここから、急登になり標高差 250m ほどを一気に登ると大谷ヶ丸北峰である。ザラザラの急斜面や大岩ゴロゴロを巻いたりしながら山頂にたどり着く。

山頂にて大休止 12:00~12:20。やや離れて本峰の大谷ヶ丸が南に見える。北には雁ヶ腹摺山が大きく見え、大菩薩連稜の黒岳から大谷ヶ丸への連なりが見渡せる。山稜の上は冬枯れの装いであった。下山方向の北西尾根を北へ下る。

急勾配の痩せ尾根をグイグイ下りる。P1489 で下降は一息つく。北西尾根は西尾根に比べ歩かれている量がやや少ないと見え、藪尾根らしさをやや残しており時折笹藪を行く。



下山も 1200m 付近の紅葉が素晴らしい！黄葉前の黄緑・明るい黄色・鮮やかな朱色・目も覚める赤・濃い紅とすべての色が織りなす絶景に出会う(どこかの TV 番組みたいですが…)。眼下に林道が近づき、切通しを下れるように道がつけられていることがを確認、順調に林道に出る 13:50。



大蔵沢林道を下り、日川ダムへの県道に出たところを右折、トンネルを抜けてやまと天目山温泉へ。お湯はツルツル感の温泉でした。

晩秋の山をパーティーで独占、豊かな一日を有難うございました。